

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-8	高等学校	数学	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の各号の目標を達成するため、それぞれ以下の点を基本方針とし本書を編修した。

教育基本法第二条	方針
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例による導入や、既習内容の復習、注意、参考、応用的な内容である思考力PLUSを豊富に載せ、幅広い知識と教養を身に付けられるようにする。 ・ 練習は直前に扱った内容の反復を基本とし、知識を定着させられるようにする。 ・ 章とびら、前見返しでは、内容に関連する風景など、さまざまな写真を載せ、豊かな情操と道徳心を培えるようにする。 ・ 重要用語をゴシック体にし、公式や定理を枠で囲んで強調するなど、豊かな知識を身に付けられるようにする。
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中には青色文字や貼り紙の補足説明などを配し、例題には「Tips」を配することで、自学自習に配慮し、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養えるようにする。 ・ 学習した内容から多様な視点を身につけるDigを配することで、自主及び自律の精神を養えるようにする。 ・ 導入のIntroにおいて、自動車の走行距離や垂直跳びのデータなどの具体例を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにする。
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例や例題、練習問題などで扱う題材は、男女に偏りがないようにする。 ・ 章末「つながる数学」において、社会の中で数学が活用されている事例を扱うことで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度が養えるようにする。
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章とびらや前見返しにおいて、日本各地の自然豊かな風景写真を扱うことで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにする。
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章とびらや前見返しの日本各地の風景写真に都道府県の地名を付記することで、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにする。 ・ 章末「つながる数学」において、数学が活用されてきた史実を扱うことで、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにする。

2. 対照表

●全体的な特色		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し・章とびら	日本各地の自然豊かな風景写真などを載せ、豊かな情操を養えるようにするとともに（第1号）、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにした(第4号)。また、我が国と郷土を愛する態度を養えるように、都道府県の地名を付記した(第5号)。 また、身の回りの具体的な事例を扱うことで、職業及び生活との関連を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。	前見返し p.3,51,71,125,161
導入例（Intro）	中学内容の復習を扱うことで知識と教養を身に付けられるようにするとともに（第1号）、身の回りの具体例を扱うことで、職業及び生活との関連を重視する態度を養えるようにした(第2号)。	p.4,8など p.38,72など
例・例題・練習	例題にTipsを設けることで、自学自習に配慮し、自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。また、練習は例・例題の反復が中心で、知識を定着させられるようにした(第1号)。 例や例題、練習問題などで扱う題材、データなどにおいて、男女に偏りがないようにした(第3号)。	全般
つながる数学	各章末に配したコラムで、数学が日常生活や社会生活において活用されている事例を紹介し、幅広い知識と教養を身に付けるとともに（第1号）、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度（第2号）、および、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした（第3号）。	p.50,70,124,160,184
重要語句・公式や定理	重要用語をゴシック体にし、公式や定理を枠で囲んで強調するなど、豊かな知識を身に付けられるようにした(第1号)。	全般
注意・参考・Dig 思考力PLUS・発展	注意、参考、Dig、思考力 PLUS、発展を豊富に載せることで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにするとともに(第1号)、自ら学びを深めようとする、自主及び自律の精神を養えるようにした（第2号）。	全般
青色文字・補足説明	本文中の青色文字による補足説明、貼り紙形式による補足説明などを設けることで、自学自習に配慮し自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。	全般

●章ごとの特色			
図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
1章 数と式	1節	<ul style="list-style-type: none"> Introにおいて既習内容の復習(累乗, 因数分解など)を扱うとともに, 応用的な内容である発展を載せ, 幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ, 知識を定着させられるようにした(第1号)。 自学自習する際にも内容を充分理解できるように, 本文中での注意, 貼り紙形式の補足説明や, 例題におけるTipsなどを豊富にのせ, 自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.8,14,24 など</p> <p>p.8,10,16,19 など</p> <p>p.7,12,15,22 など</p>
	2節	<ul style="list-style-type: none"> Introにおいて既習内容の復習(有理数・無理数, 平方根など)を扱うとともに, 応用的な内容である思考力PLUSや発展, 参考を豊富に載せ, 幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ, 知識を身に付けられるようにした(第1号)。 	<p>p.26,29,34, 35</p> <p>p.28,31 など</p>
	3節	<ul style="list-style-type: none"> Introにおいて既習内容の復習(不等号の意味など)を扱うとともに, 応用的な内容である思考力PLUSを載せ, 幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ, 知識を身に付けられるようにした(第1号)。 10円硬貨の大きさの計測や, 果物の購入といった題材を配することで, 職業及び生活との関連を重視する態度を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.36,46など</p> <p>p.41,42 など</p> <p>p.36,38,45 など</p>
2章 集合と論証	1節	<ul style="list-style-type: none"> 応用的な内容である思考力PLUSを載せ, 幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ, 知識を身に付けられるようにした(第1号)。 	<p>p.67</p> <p>p.55,60,63 など</p>
3章 2次関数	1節	<ul style="list-style-type: none"> Introにおいて既習内容の復習(1次関数や2次関数など)を扱うとともに, 応用的な内容である思考力PLUSを豊富に載せ, 幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ, 知識を身に付けられるようにした(第1号)。 自動車の走行距離などの題材を扱い, 職業及び生活との関連を重視する態度を養えるようにした(第2号)。 自学自習する際にも内容を充分理解できるように, 本文中での注意, 貼り紙形式の補足説明や, 例題における考え方などを豊富にのせ, 自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.72,76,88 など</p> <p>p.84,85,91 など</p> <p>p.72</p> <p>p.80,84,87</p>

	2節	<ul style="list-style-type: none"> ・ Introにおいて既習内容の復習(1次関数のグラフなど)を扱うとともに、応用的な内容である思考力PLUSや発展を豊富に載せ、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ、知識を身に付けられるようにした(第1号)。 	<p>p.101,110,111 など</p> <p>p.102,108,113 など</p>
<div>4章</div> <div>図形と計量</div>	1節	<ul style="list-style-type: none"> ・ エスカレーターの高さの計測や、坂道の傾斜角を用いた算出といった題材を配することで、職業及び生活との関連を重視する態度を養えるようにした(第2号)。 ・ 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ、知識を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 例題における考え方や、本文中での注意、貼り紙形式による補足説明などを設けることで、自学自習に配慮し、自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.126,130 など</p> <p>p.129,135,137 など</p> <p>p.134,136 など</p>
	2節	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応用的な内容である思考力PLUSや発展を載せ、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ、知識を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 塔の高さなどを求める問題を扱うことで、職業及び生活との関連を重視する態度を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.149,153,151 など</p> <p>p.145,147,151 など</p> <p>p.154,157 など</p>
<div>5章</div> <div>データの分析</div>	1節	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習内容の復習(度数分布表、代表値など)を扱うとともに、参考を載せ、幅広い知識と教養を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 反復問題を中心とした練習を豊富に載せ、知識を身に付けられるようにした(第1号)。 ・ 男女の平等を重んずることから、例や例題、練習問題などで扱う題材、ボール投げや握力のデータなどは、男女に偏りがないようにした(第3号)。 	<p>p.162~167</p> <p>p.166,167 など</p> <p>p.174,176 など</p>
<div>巻末思考力PLUS</div> <div>(課題学習)</div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題学習では、グループ学習など、主体的に参加し、協力を重んずる態度を養えるようにした(第3号)。 ・ 課題学習では、身近かつ具体的な場面設定のもとで取り組む題材とし、自主及び自律の精神を養えるようにした(第2号)。 	<p>p.186~189</p> <p>p.186~189</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

一 義務教育として行われる普通教育の成果をさらに発展拡充させて，豊かな人間性，創造性及び健やかな身体を養い，国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。	<ul style="list-style-type: none">・各節の導入では，義務教育の成果を更に発展拡充させるために，既習内容を確認する復習を設け，高校数学の内容が確実に習得させられるようにした。特に，数と式，2次関数，図形と計量，データの分析では，スパイラル学習にも配慮した。
二 社会において果たさなければならぬ使命の自覚に基づき，個性に応じて将来の進路を決定させ，一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得させること。	<ul style="list-style-type: none">・一般的な教養を深め，専門的な知識を習得させる観点から，思考力PLUS，発展，参考，Dig，脚注などを適宜扱った。・章末にコラムページ「つながる数学」を設けることで，学習した数学が，社会基盤として重要な役割を果たしていることを知るとともに，自らの将来にどのように関係していくか，主体的に考えられるようにした。
三 個性の確立に努めるとともに，社会について，広く深い理解と健全な批判力を養い，社会の発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none">・個性の確立に努めるとともに，社会について，広く深い理解と健全な批判力を養うことから，課題学習では発表し，教え合う算数・数学的活動が展開できるように配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-8	高等学校	数学	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

平成 30 年告示の高等学校学習指導要領において示された高等学校数学科の目標を達成するために、以下の観点に基づき、教科書の編修を行った。

「数学的な見方・考え方」を働かせながら、

- ① 知識及び技能を習得すること
- ② 思考力、判断力、表現力等を育成すること
- ③ 学びに向かう力、人間性等を育成すること

また、本書は数学を必ずしも得意教科としない生徒のために編修された教科書である。そのため、以下のような点について、編修上特に意を用いた。

- ① 各単元の導入部では、既に学習した内容を適宜扱い、生徒がそれまでに学習した内容と断絶を感じないようにする(スパイラル学習)。
- ② 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるように、多くの練習問題を段階的に扱い、家庭での学習時間が確保できるよう配慮する。
- ③ 本文の説明や記述を丁寧にし、例が多く、生徒がつまずくことなく学習できるようにし、家庭での学習意欲、学習習慣を損なうことのないようにする。
- ④ 巻末の思考力 PLUS（課題学習）では、生徒の思考力・判断力・表現力が養えるよう題材を工夫し、数学を活用する楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

A5判 本文200ページ

高等学校
数学科
数学 I

以上のことをふまえ、具体的には以下のように編修した。

(1) 内容

- ① 本文の説明や例・例題などは、丁寧な内容記述とした。また、図表やグラフ、色、補足説明などを用い、生徒が家庭でも自学自習できる教科書とした。
- ② 導入では、具体例や復習例を多く扱い、生徒にとって学習意欲がわき、導入からつまずくことなく、理解し易いように配慮した。
- ③ 例題を例題・応用例題の2段階に分けた。また、「参考」・「思考力PLUS」・「発展」・「Dig」を扱い、生徒の実態に応じて、レベルが選べる教科書とした。
- ④ 例を可能な限り多くして、スモールステップで学習できるようにし、生徒が段階的に学び、一定の学力が身に付く教科書とした。

(2) 構成・分量

- ① 見開き2ページ構成を基本として、見やすさ、学習のしやすさに配慮した。
- ② 学習内容の定着に配慮して、例や例題の後には、同じ難度の問題を豊富に配し、反復・繰り返し学習ができるようにした。

- ③ 節末問題(CHECK)は、本文の練習と同じ難度を基本とし、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が得られるよう、再度、反復・繰り返し学習ができるようにした。
- ④ 章末問題は、応用的な問題を選び、学習意欲のある生徒に配慮した。また、問題の難度に応じてA問題、B問題に分けた。
- ⑤ 章末の「つながる数学」において、数学が日常生活や社会生活のなかで活用されている事例を紹介し、学習した内容にどのような意義があるのか、また将来どのように活かしていくことができるのか、生徒が主体的に考えられるようにした。

江戸時代の測量と三角比

江戸時代の商人、伊能忠敬とその測量隊は、1800年から1816年にかけて日本全国を測量し、『大日本沿海輿地全図』を完成させた。測量にはいろいろな場面で三角比が必要であった。そのため忠敬は、『割円八線対数表』という当時の三角比の表を持ち歩いていた。

たとえば、下の図のような坂道では、A地点からB地点までの距離と角度を測定し、割円八線対数表を利用して水平距離を求めた。このような丁寧な測量を積み重ねたために、大日本沿海輿地全図は非常に正確な地図になった。

TRY 伊能の測量において、三角比が他にどのような場面で用いられていたか調べてみよう。

▲中国沿海・畿内図
(伊能忠敬記念館所蔵)

坂道の角度を測る
縄や鎖で距離を測る
表を利用して、水平距離を求める

(3) 表記・表現及び使用上の便宜

- ① 学習指導要領で定められた「用語」に加え、学習のうえで特に重要である語句は太字とし、必要に応じてルビをふった。
- ② 写真、図や表、グラフなどは、生徒の理解に配慮して、適切な場所に配置した。
- ③ 重要公式は線で囲み、生徒が紙面の中で、一目で重要と判別できるように配慮した。また、その囲みにはタイトルを付記し、理解の便宜を図った。
- ④ 本文においてポイントとなる箇所には色網やアンダーラインの付加など、表記・表現に工夫や配慮をして、生徒が理解し易いようにした。
- ⑤ 貼り紙形式による補助説明、青色文字の補助説明、注意や脚注などを、必要かつ適切な場所に配置し、自学自習できるようにした。
- ⑥ 教科書内容の確実な定着に配慮して、例や例題が反復学習できるように各節末にCHECKを配置した。なお、CHECKには、対応するページ番号および例・例題の番号を付記し、生徒の復習及び自習にも配慮した。
- ⑦ 学習の対象となる題材が何であるか理解しやすいように、小見出しを多くした。また、小見出しには番号をつけ、検索性にも配慮した。
- ⑧ 例において、生徒が何を解くのか分かりやすいように、例題と同様、可能な限り問題文をつけた。
- ⑨ 例題には必要に応じて「Tips」を載せ、生徒の理解の助けとした。また、扱っている内容、題材が明確にわかるよう、例題にタイトルを付記した。
- ⑩ 学習意欲の高い生徒、応用的な問題に挑戦したいと思う生徒に配慮して、選択的な教材である思考力PLUSや参考、発展、Digを適宜設け、多様化した生徒のニーズに応えられるように工夫した。

(4) その他

- ① 前見返しでは，本文への興味を喚起するカラー写真を扱った。
- ② 章とびらでは，授業の参考となるような題材の写真を大きく扱い，数学を学ぶ意義を理解できるようにした。
- ③ 巻末の折り込みでは，練習問題に取り組む際三角比の表を参照しやすいように配慮した。また，データの分析に関する公式や表計算ソフトの使い方を見開きページにまとめ，生徒の理解の助けとした。
- ④ 後見返し②，③では，中学校の復習を見開きページにまとめ，必要に応じて参照できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1 章 数と式	(1) 数と式		
1節 式の計算	ア (ウ) イ(イ)	p.4～25	13
2節 実数	ア (ア) [内容の取扱い] (2)	p.26～35	6
3 節 1 次不等式	ア (エ) イ(ウ)(エ)	p.36～48	8
2 章 集合と論証	(1) 数と式		
1節 集合と論証	ア (イ) イ(ア)	p.52～68	11
3 章 2 次関数	(3) 二次関数		
1節 2次関数とそのグラフ	ア (ア)(イ) イ(ア)(イ)	p.72～100	16
2節 2次方程式と2次不等式	ア (ウ) イ(イ)	p.101～121	12
4 章 図形と計量	(2) 図形と計量		
1節 三角比	ア (ア)(イ) イ(イ) [内容の取扱い] (3)	p.126～143	11
2節 三角比と図形の計量	ア (ウ) イ(ア)(イ)	p.144～157	9
5 章 データの分析	(4) データの分析		
1節 データの分析	ア (ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ)(ウ)	p.162～182	13
巻末 思考力PLUS (課題学習)	[課題学習] [内容の取扱い] (4)	p.185～193	6
全体	[内容の取扱い] (1)		
		計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-8	高等学校	数学	数学 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
24～25	3 次式の展開と因数分解	1	(1)数と式 ア(ウ) イ(イ)	2
35	二重根号	2	(1)数と式 ア(ア)(ウ) イ(イ)	1
110	放物線と直線の共有点	1	(3)二次関数 ア(ウ)	1
153	ヘロンの公式	2	(2)図形と計量 ア(ウ) イ(ア)	1
合 計				5

- (備考)
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2

常用漢字以外の使用漢字一覧表

使用漢字	樽	漱	伊	輿
初出ページ	48	70	160	160

出 典 一 覧 表

申 請 図 書			出 典					備 考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
前見返し①	通潤橋	写真						アフロ 25938681
前見返し②	さっぽろ雪まつりのプロ ジェクションマッピング	写真						アフロ 34267792
前見返し②	紫雲出山の桜	写真						
p.3	東京スカイツリー	写真						PIXTA 95889317
p.51	ささしまコスモタワー	写真						PIXTA 73604923
p.70	文庫本表紙	写真	吾輩は猫で	表紙	夏目漱石	新潮社		
p.70	文庫本表紙	写真	ある	表紙	夏目漱石	新潮社		
p.70	文庫本表紙	写真	三四郎	表紙	太宰治	新潮社		
p.70	文庫本表紙	写真	走れメロス	表紙	太宰治	新潮社		
p.71	長岡まつり大花火大会	写真	人間失格					PIXTA 43659470
p.72	新東名高速道路	写真						PIXTA 44674995
p.125	田舎館村の田んぼアート	写真						PIXTA 10581561
p.160	中国沿海・畿内図	地図						伊能忠敬記念館
p.161	鉄輪温泉	写真						PIXTA 75072331
p.184	POS	写真						PIXTA 29889823

※上記以外は自社作成

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第 33 条に基づき、掲載する旨を著作権者に通知するとともに、
補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考 4 の内容について確認しました。



用語・記号リスト

用語・記号	正弦	sin	余弦	cos	正接	tan	外れ値
初出ページ	127	127	127	127	126	126	168

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学 習 上 の 参 考 に 供 す る 情 報			備 考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	2,表4	二次元コード, URL	自社	自社ページURL	一次遷移画面	別紙 1
2	3,5171,125,161	二次元コード	自社	自社ページURL	各章コンテンツ	別紙 2
3	3,71,125, 6,7,9,10,11,12,1 3,15,16,17,19,2 1,22,30,31,32,4 2,43,44,53,56,6 0,62,73,84,85,8 6,91,93,96,97,9	自社マーク	自社	自社ページURL	計算ドリルアプリ	別紙 2
4	8,101,102,104,1 06,108,113,114, 115,116,117,11 9,127,128,133,1 34,142,145,147, 151,164,165,16 6,167,171,172,1 79,181,	自社マーク	自社	自社ページURL	補充問題	別紙 3
5	18	自社マーク	自社	自社ページURL	「たすきがけ」のシミュレーション	別紙 4 - 番号 1
6	50,69123,159,1 83	二次元コード	自社	自社ページURL	各章末解説動画	別紙 5
7	78,80,82	自社マーク	自社	自社ページURL	「 $y=ax^2$ のグラフの平行移動」のシミュレーション	別紙 4 - 番号 2
8	84	自社マーク	自社	自社ページURL	「平方完成」のシミュレーション	別紙 4 - 番号 3
9	86	自社マーク	自社	自社ページURL	「 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ」のシミュレーション	別紙 4 - 番号 4
10	92	自社マーク	自社	自社ページURL	「 $y=ax^2+bx+c$ の最大・最小」のシミュレーション	別紙 4 - 番号 5
11	155,156	自社マーク	自社	自社ページURL	正四面体の切り口	別紙 6
12	160	自社マーク	NHK for school	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?d=D0005310099_00000	4章つながる数学参照ページ	別紙 7
13	167	自社マーク	自社	自社ページURL	箱ひげ図のシミュレーション	別紙 4 - 番号 6
14	192	自社マーク	自社	自社ページURL	統計データ	別紙 8
15	194	二次元コード	自社	自社ページURL	解答	別紙 9
16	後見返し①	自社マーク	自社	自社ページURL	統計データ	別紙 1 0

社名

コンテンツについて 利用規約


[全コンテンツを表示](#)


書名


🔍 ページ検索

100 ページ 検索


🔍 ジャンル検索


 解説動画

 アプリ

 解答

 補充問題など

 外部リンク

 Excel

🔍 単元検索

付録

1章 数と式

2章 集合と論証

3章 2次関数

4章 図形と計量

5章 データの分析

巻末

コピーライト表記

	A	B	C
1		値段	カロリー
2	①	410	871
3	②	356	694
4	③	302	476
5	④	259	585
6	⑤	162	234
7	⑥	129	328
8	⑦	108	131
9	⑧	97	340
10	⑨	86	51
11	⑩	54	28
12	合計	1963	
13	平均値	196.3	
14	中央値	145.5	
15	分散	14205.41	
16	標準偏差	119.1865	
17			
18	相関係数	0.941031	

書影

ウォームアップplusドリル



出題範囲	出題数	正解率
正負の計算 (1)	全 10 問	—
正負の計算 (2)	全 10 問	—
正負の計算 (3)	全 8 問	—
正負の計算 (4)	全 10 問	—
小数の計算	全 10 問	—
分数の計算 (1)	全 10 問	—
分数の計算 (2)	全 10 問	—
分数の計算 (3)	全 8 問	—
分数の計算 (4)	全 8 問	—
平方根 (1)	全 8 問	—
平方根 (2)	全 8 問	—

成績をリセット

アプリについて 使い方

正負の計算 (1)

問 1 / 10

▶ 次の計算をなさい。

$$12 + (-7)$$

5



登録

正解
チェック

解説

次へ



使い方

教 p.6 **練習** 5 **補充問題**

次の整式を, x に着目して降べきの順に整理し, 各項の係数と定数項を求めよ。

(1) $x^2 - 3xy + 4x + 5y - 4$

(2) $3x^2 + 5xy + 2y^2 - x + 2y + 6$

番号 1

$$3x^2 + 5x - 2 = (1x + 2)(3x - 1)$$

$$= (x + 2)(3x - 1)$$

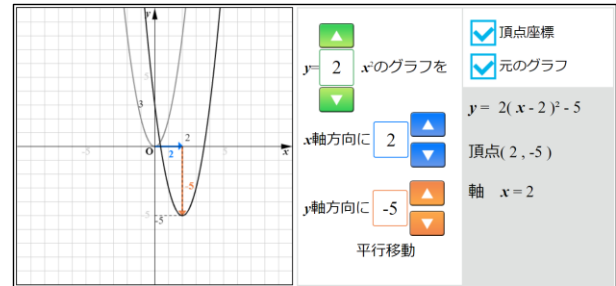
計算 リセット

$$\begin{array}{|c|c|c|c|} \hline ac & 1 \times 3 & & \\ \hline \hline 1 \times 2 & -2 \times 1 & -1 \times 2 & 2 \times -1 \\ \hline bd & & & \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 6 \\ \hline 3 & -1 & -1 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|c|c|} \hline 3 & -2 & 5 \\ \hline ac & bd & ad + bc \\ \hline \end{array}$$

番号 2



番号 3

$$x^2 - 6x = (x - 3)^2 - (3)^2$$

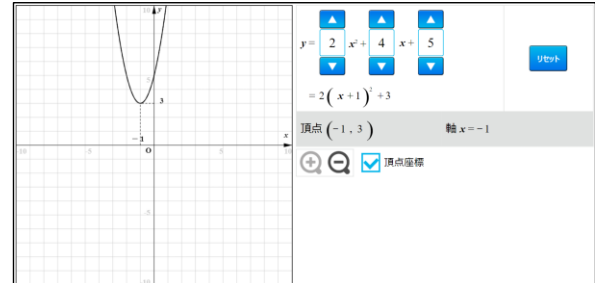
半分 2乗

☐ +
☐ -

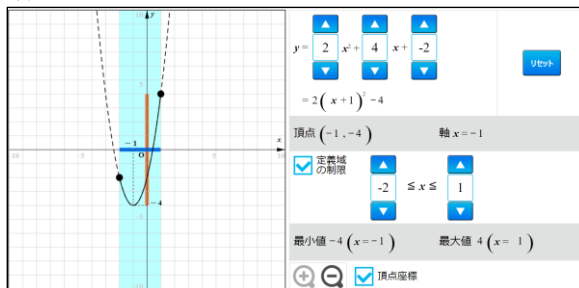
xの係数 6

手順1 手順2
 戻る

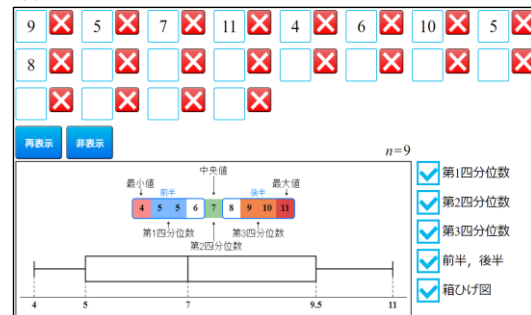
番号 4



番号 5



番号 6



6 $\sqrt{a^2+2a+1} + \sqrt{a^2-6a+9}$ を次の各場合に分けて簡単にせよ。

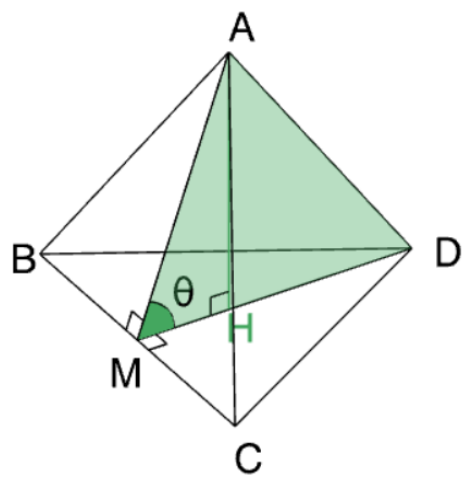
(1) $a < -1$

(2) $-1 \leq a < 3$

(3) $a \geq 3$

$$\begin{aligned} \sqrt{a^2} &= a \quad (a \geq 0 \text{ のとき}) \\ \sqrt{a^2} &= -a \quad (a < 0 \text{ のとき}) \end{aligned} \Rightarrow \sqrt{a^2} = |a|$$

$$\begin{aligned} \sqrt{a^2+2a+1} + \sqrt{a^2-6a+9} &= \sqrt{(a+1)^2} + \sqrt{(a-3)^2} \\ &= |a+1| + |a-3| \end{aligned}$$



先生向け OFF
先生向けとは

ばんぐみ一覧
プレイリスト
おうちで学ぼう！

学びをひろげよう
ヘルプ
リンク集

再生開始 00 : 00 ~ 再生終了 01 : 55
決定

ねらい

伊能忠敬が、どのような方法で正確に測量をして日本地図をつくっていったかがわかる。

内容

1800年代のはじめ、江戸時代に正確な日本地図をつくった伊能忠敬です。忠敬は、どのような方法で地図をつくったのでしょうか。まず、目印と目印のあいだの距離を歩いて測りました。忠敬は、一定の歩幅で歩く訓練をしていました。その1歩は正確に69cm。歩数から距離を計算しました。距離を測ったあとは、今来た方向を調べます。この作業をえんえんとくり返します。距離と方向の測量を、細かくくり返したことが、正確な地図の完成につながったのです。さらに忠敬の測量の経路は、今でも残っています。

伊能忠敬の測量方法

1800年代のはじめに正確な日本地図をつくった伊能忠敬。その測量方法は主に正確な「1歩」の歩幅を積み重ねるものだった。日本中を歩き日本地図をつくり上げた。

関連キーワード：伊能忠敬 日本地図 地図 北極星 測量

シェアする
☐
☒
☐

この動画へのリンクをコピーする

世代（歳）	食事（分）	休養（分）
10~14	92	104
15~19	88	113
20~24	90	111
25~29	89	98
30~34	90	93
35~39	94	87
40~44	94	89
45~49	95	95
50~54	96	87
55~59	100	78
60~64	107	76
65~69	114	77
70~74	122	85
75~	124	131

別紙 8

1 章 数と式

1 節 式の計算

練習 1

- (1) 次数は **2**, 係数は **5**
- (2) 次数は **1**, 係数は **1**
- (3) 次数は **3**, 係数は **-2**
- (4) 次数は **2**, 係数は $\frac{1}{2}$
- (5) 次数は **4**, 係数は **-3**

練習 2

- (1) 次数は **2**, 係数は **$3a$**
- (2) 次数は **3**, 係数は **$4ax^2$**
- (3) 次数は **3**, 係数は **$-2xy$**

練習 3

- (1) **$-x^2 - 3x + 1$**
- (2) **$2x^2 + x - 6$**

練習 4

- (1) **2 次式**, 定数項は **4**
- (2) **3 次式**, 定数項は **-5**